



改憲問題対策法律家6団体連絡会主催・院内集会

# 『テロとの戦争』と安保法制

講師 栗田禎子先生（千葉大学文学部教授・中東現代史）

～自衛隊の中東派遣がもたらす危険～（仮題）

報告 高木太郎弁護士（日本労働弁護団前幹事長）

～自衛官と家族・恋人の電話相談から～

日時■ 2016年1月20日(水)17:00～18:30

会場■ 参議院議員会館 B107会議室

★当日は、16時30分から参議院議員会館1階ロビーで通行証を配布します。



9月19日、戦争法は強行採決により「成立」されてしまいましたが、戦争法制に反対し、憲法九条を守ろうという声は全国各地に拡がり、各層各分野の人々が行動し手を結ぶ歴史的なうねりをつくりあげました。他方で、今年11月13日のパリ同時多発テロ事件を受けて、安倍内閣は『テロとの闘い』を口実とした中東への自衛隊派遣の議論を加速させつつあります。「米国から過激派組織ISに対する空爆への支援要請があった場合、これを断るか」との質問に対し、菅官房長官は断ると明言しなかったこと（12月10日参院内閣委）とも表れています。万が一、IS空爆支援のために自衛隊が中東に派遣されるようなことがあれば、自衛隊員をはじめとする日本国民に、どのような影響と危険がもたらされるのか、米ロ仏英（そして独まで関わって…）の空爆にさらされている中東情勢について、日本の戦争法や自衛隊との関わりについて、中東現代史がご専門の栗田禎子先生にご講演戴きます。また、9月12日、同14日と自衛官と家族のための電話相談を実施した日本労働弁護団の高木太郎弁護士より、自衛官と家族が置かれている現状などについても報告されます。

シリアをはじめとする中東の現状を知り、自衛隊派遣の危険性について学びつつ、戦争法制の廃止を訴える院内集会に、ぜひ、ご参加ください。

主 催■改憲問題対策法律家6団体連絡会（社会文化法律センター  
／自由法曹団／青年法律家協会弁護士学者合同部会／日本国際  
法律家協会／日本反核法律家協会／日本民主法律家協会）  
協 力■日本労働弁護団

連絡先■日本民主法律家協会〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-14-4 AMビル 2階

TEL 03-5367-5430

FAX 03-5367-5431